

■ JIPAT 会員交流ツアー 『五感で楽しむ瀬戸内の旅』 行って来ました！



皆さん！今年も開催されました「JIPAT 交流ツアー」。交流ツアー「インテリアを楽しむ会」はJIAPTの全会員向けに毎年開催。昨年は地元東京で活躍の「すごい人」を巡る旅でしたが、今年は「五感で楽しむ瀬戸内の旅」と題して、9/21(金)～22(土)を、なにやら賑いのある瀬戸内に向かって繰り出しました。定員は早々に満員御礼！現地集合現地解散の楽しい交流ツアーの全貌をご報告します！

五感で感じ、考える。そんな刺激的な訪問先には、イサムノグチでも有名な高松の「桜製作所」、素直な島「直島」、直島にてアートプロジェクトを展開している「ベネッセハウス」・「地中美術館」・「家プロジェクト」、そして瀬戸内の海・風・太陽・人が旅の舞台です。

今回は現地集合で、皆さん飛行機・夜行バス・新幹線・豪華寝台列車・前泊等々にて高松に。

貸切バスで向かった最初の訪問先『桜製作所』さんでは、永見社長のご案内のもと、実際の製作現場を見学。その中でも、職人さん各々の木工用の刃を研ぐ「砥ぎ場」には特別な心意気を感じました。この「砥ぎ場」は昨今家具等の製作場においても少なくなってきたようです。ものづくりの思いを熱く語る永見社長の言葉からは、日本のものづくりがこれからも世界に熱く発信されていくとを感じる事が出来ました。

その後高松港より高速船にて瀬戸内海を渡り直島へ。到着と同時に個性あふれるアーティストの作品がお出迎え。砂浜の小石も面白く心躍る上陸となりました。

宿泊先「ベネッセハウス」はアートと宿泊が一体の空間。今回の宿泊は昨年OPENしたPARK棟と一部MUSEUM棟。PARK棟は建築家安藤忠雄氏設計の木造宿泊空間。ベネッセハウス到着後は、津越取締役総支配人はじめ、スタッフの方々から挨拶を頂きシャンパンで乾杯。昼間のシャンパンはなんとも刺激的。

ひと休み後は「地中美術館」へ。ベネッセ福武会長の思いを安藤氏の手による建築とアートとのコラボレーション空間。ここでは思いっきり自由行動。早々に美術館を出て島を散策、美術館内でワインを飲みながら瀬戸内を眺める、夕日にたそがれ風を感じる、等々皆さん思うままの時を楽しみました。その優雅

な時を経て、オプションのジュームスタレル氏作品「オープンスカイ」での「ナイトプログラム」に突入。閉館後の美術館という稀な空間を進み、ここも満員御礼の中プログラムスタート。

何もせず、空をあれだけ眺めている時間は今迄あったらどうか？と、眺め考え作品と一体となっていく。そんな、ゆるやかな時を皆さんと楽しむ事が出来ました。

そして、待ちに待った夕食は瀬戸内の幸満載のフレンチに舌鼓。静かな瀬戸内の海と歓談を存分に楽しみ、二次会三次会、またベネッセハウスMUSEUM・PARK見学などで大盛り上がり。

翌日「PARK」棟内の作品説明ツアーで深みを増してゆったりと過ごす。名残惜しくもベネッセハウスを後にして「家プロジェクト」に。当日は2作品のみを楽しみましたが、2班に分かれ貴重な話と作品体験。



そのあと町の雰囲気を感じ散策しながら港でのビールを堪能。最後の訪問先「おおみやけ」さんでは無理をお願いしての20名強の昼食。400年続く昔の役所でもあった名家の居間は、直島の人でも上がった事が無い？というお屋敷。ここでは、ご主人の三宅さんが海外駐在時代に良く食べたという特製カレーを頂き、お腹も心も幸せの後に瀬戸内海を渡り高松港へ。まだまだ名残惜しくも瀬戸内の海をバックに記念写真！で解散となりました。

解散後は、讃岐うどん・温泉・建築見学そして小旅行など、最後まで皆さん積極的に楽しんだ今回の交流ツアー。振り返ってみると、自然と人、建築とアート、それぞれがうまくコラボレーションして新しい世界を創り出しているのを楽しく知る素敵な旅でした！

交流とは、新しい世界を知り、そして感じ考えるよい機会。その結果自分の世界も広がります。是非皆さんも積極的にJI-PATの様々な活動に参加なさってみてはいかがでしょうか？

最後に、この交流ツアーに協力をして下さった、訪問先及び協力関係者の皆様そしてダンカンさん、有難うございます！

荒井資郎 (正会員)